

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野 木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました

令和 5 年 9 月 29 日

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和 5 年 9 月 21 日に木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました。

新型コロナウイルスが感染症法上 5 類に引き下げられたものの、仙台市内では相変わらず感染が続いていることから、感染防止のために引き続きマスクの着用と十分な換気をするなど、参加者にご協力をいただきながら進行了しました。

今回のサロンの内容は、これまでに二回ほど実施して好評でリクエストのあった紙芝居と初めてリズム体操を実施しました。紙芝居は、「ジャックとまめのき」「きんのおの ぎんのおの」「ごんごろ鐘」「まっくらていでんどうする どうする?」「てんぐのけんか」の全部で 5 作を用意しました。「ジャックとまめのき」と「きんのおの ぎんのおの」は説明するまでもなく代表的な外国童話であり、「ごんごろ鐘」は太平洋戦争時の金属回収令で村のシンボルであるお寺の鐘が回収され、終いには村の若い人までも戦地に送られてしまうという悲しい話、「まっくらていでんどうする どうする?」は災害に備える大切さを確認する話、「てんぐのけんか」は仲の悪い二人のてんぐが些細なことでけんかを始めてしまい、自分の居場所を無残にしてしまうという話でした。

紙芝居を実施するのは今回で三度目でしたが、参加者によく理解してもらうため、読み聞かせの前に話の概要を説明し、後から振り返りをするなどして参加者が理解できたか確認することにしました。

リズム体操は、ボランティアに DVD を用意していただき、映像を見ながらラジオ体操第一と同第二とストレッチで体を動かし、参加者には少し汗をかく程度にがんばって運動していただきました。時世と時期に合った紙芝居の内容と適度な体操の組み入れのタイムテーブルにより、好評のうちに終了となりました。

今後も周知の幅を広げ、「りらくらぶ」の活動が参加者の皆様にとってますます交流の深まる場になるようにご意見を参考にし、より多くの方々に参加していただける企画を催していきたいと思ひます。次回は令和 5 年 11 月 16 日を予定しています。

